

---

# **キミに青空を～虹のカケラ～**

瑠華

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

キミに青空を～虹のカケラ～

### 【NZコード】

N4125D

### 【作者名】

瑠華

### 【あらすじ】

1人の女の子と、青空の物語です。

# “broken piece”

“プロローグ”

私は、空を知らない。

ひとひら落ちた花びらを私は知らない。  
知らないけど、今もこれからもずっと、空はある。花びらは舞い落ちる。

私はそれを知っている。

いや、きっと知らないんじゃない。

どこかで、覚えているんだ。ただ、それを思い出せないだけ…  
僕は、あの懐かしい青空をキミに届けたい

## 第一章 『夢と記憶』

この景色はなんだろ? この景色を、私は知らない。  
知らない、知らない、知らない!!

……知らないはずなのに、なんでこんなにも胸が痛むの?  
もひ、いやだよ、こんな…助けて! 誰か助けて!!  
「…追いかけてこないで…! …なん…なの、いや…助け…(モフ  
ツ?)」

「な~に朝から、寝」と連発してんだあ? 早く起きろよ…!」

「ん~。。。えつ? ! なんで、ここに雄飛がいんの? まさか、お  
見舞いに来てくれたの?」

「るせえー! 別に、見舞いにきた訳じゃねえよ! …」

「そつかあ? ジヤあなんでここにきたの?」

「いや… それは… あつ! あれだよ! その、海行かねえか?」

「はあ? ! なに言ってんの? 私は無理だよ。いつも言つてんでしょう! 外に出たら、北村先生に怒られちやつ。」

「…わらい。そうだつたよな…」

「別に謝んなくていいよ! 雄飛らしくない! …」

「んだと？！失礼な……」

こんな、変な会話から始まる1日。まあいつものことだ。

私の名前は、桃塚瑠紗。ももづるさ 13歳の中学2年生。

毎日、元気に過ごしてゐし、なんの問題もない毎日。でも、私は外に出たことがない。生まれたから一度も…

だから、外の世界のことは何も知らない。今まで、病院しか見たことがなかつた。

この病気のせいで

「あ～あ、私も外行きたいのになあ……なんで、こんなになつたんだろ…」

「…………」

「ん？あつー『めん、いまのなし…』しじうがないもんね。こんな体じや…」

「そんなことねえよ！そのうひ、治るつて！…なつ？」

「うん。ありがと」

さつきから、私と話してゐるこの人は、日向雄飛。ひなた ゆうひ 私と同じ、中学2年生。雄飛は、昔からの友達。まあ幼なじみだ。

「それよりお前、なんの夢みてたんだ？うなされてたぞ？」

「ああ～…うん。なんか、さいきん変な夢みるんだ。」

「変な夢？」

「うん。なんか、知らない景色が…毎日同じ…夢の中で、私を苦しめるの。」

「そうなんだ？」

「ん？どうした？」

「別に、なんでもねえよ…！また、あとで来る。じゃあなー！」

「えつーあ、うん。ばいばい～」

雄飛どうしたんだろう？こつもと様子が違つた。。。。

ズキッツ？！…！…

「痛つ！痛い！痛い！！！助けて！！！」

なに？！この頭痛！あれ、失っていた記憶が…

痛いよ……

「 a b r o k e n p i e c e 」 … カケラ…

虹の力ケラ…どこに消えたの?

私の記憶は、どこに消えたの

…?

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4125d/>

---

キミに青空を～虹のカケラ～

2011年1月27日09時00分発行